

株式会社エクストランス

X-MON3.14.0

アップデート内容

1. まえがき

本資料は X-MON3.14.0 のアップデート内容資料です。

X-MON3.14.0 で新たに追加した機能と、改修された機能並びに
不具合修正内容について記載します。

X-MON の入門リファレンスや監視エージェント導入監視方法などのマニュアルについては
X-MON サポートページにログインしてご確認ください。

また、本資料で紹介した新機能についてのマニュアルもサポートページで公開しています。

<https://x-mon.jp/support/>

2021 年 10 月

内容

1. まえがき	1
2. アップデート内容	3
2.1 ダッシュボードに外部コンテンツ埋め込みパネルを追加	3
1.1 X-MON のヘルスチェック機能	3
3. 不具合の修正	4
3.1 監視設定	4
3.2 表示関連	4
4. Red Hat Enterprise Linux 6 の対応終了	5

2. アップデート内容

X-MON3.14.0 では以下の機能が追加・改修されました。

- ダッシュボードに外部コンテンツ埋め込みパネルを追加
- X-MON のヘルスチェック機能

2.1 ダッシュボードに外部コンテンツ埋め込みパネルを追加



ダッシュボードに外部コンテンツ埋め込みパネルを追加しました。

データ可視化ツールである Kibana のダッシュボードなどを別途作成して埋め込むことで、X-MON のダッシュボード上で様々な情報を集約して表示できるようになります。

右上のボタンをクリックすることで、埋め込んだ外部コンテンツの URL を新しいタブで開くことができます。

1.1 X-MON のヘルスチェック機能

GET: <X-MON URL>/health

上記のリクエストを行うことで X-MON が正常に稼働しているかどうか確認できるようになりました。

3. 不具合の修正

以下の不具合を修正しております。

3.1 監視設定

- WMI による Windows ディスク監視で、空き容量が 0Byte のディスクを監視した場合にエラーが発生する
- ダッシュボードの「任意のパフォーマンスグラフ」パネル設定がバックアップ/リストアされない

3.2 表示関連

- イベントログ機能において、CSV エクスポートのサンプル表示をクリックするとエラーが発生する。

その他軽微な不具合修正を含みます。

4. Red Hat Enterprise Linux 6 の対応終了

本バージョン以降の X-MON は Red Hat Enterprise Linux(以降 RHEL) 6 に対応いたしません。

RHEL6 をお使いのお客様は、本バージョンの X-MON のインストール、およびアップデートが行えません。

本バージョンを利用する場合は、RHEL7、もしくは RHEL8 環境への移行をお願いいたします。

RHEL8 環境への移行につきましては、3.13.1 のアップデート内容資料もご参照ください。